



2025.1.29

Findy（ファインディ）ご紹介資料

Confidential

自己紹介



山田 裕一郎

ファインディ株式会社
代表取締役

同志社大学経済学部卒業後、三菱重工業、ボストン コンサルティンググループを経て2010年、創業期のレアジョブ入社。レアジョブでは執行役員として人事、マーケティング、ブラジル展開等を担当。その後2016年、ファインディ株式会社を創業。岐阜県大垣市出身

Xアカウント：@yuichiro826

会社概要

会社名	ファインディ株式会社 / Findy Inc.
代表取締役	山田 裕一郎
設立	2014年2月 ※ 本格的な事業開始は2016年7月
社員数	約300名
資本金	約40億円 ※ 資本準備金含む
住所	東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー 5階
事業許可番号	13-ユ-308478
サービス	<ul style="list-style-type: none">・スカウト型リクルーティングサービス「Findy」・ハイスキルな業務委託エンジニア紹介サービス「Findy Freelance」・エンジニア組織支援SaaS「Findy Team+」・開発ツールに特化したレビューサイト「Findy Tools」
投資家	グローバル・ブレイン、ユナイテッド、SMBCベンチャーキャピタル、KDDI、JA三井リース、みずほキャピタル、博報堂DYベンチャーズ、Carbide Ventures、等

経営理念

つくる人がもっとかがやけば、
世界はきっと豊かになる。

ビジョン

挑戦するエンジニアの
プラットフォームをつくる。



有力スタートアップ132社、2年で雇用5割増 日経調査

ビジネスビジュアル

+ フォローする

2024年4月25日 5:00 (2024年4月25日 11:28更新) [会員限定記事]

順位	社名	事業内容	2年前比の 増加人数	増加率
1	タイミー	短期仕事のマッチングサービス	844人	4.0倍
2	SmartHR	人事労務ソフト	507	91%
3	ファストドクター	往診やオンライン診療	478	7.1倍
4	LegalOn Technologies	契約書の審査ソフト	231	75%
5	LayerX	経費精算ソフト	190	3.2倍
6	ファインディ	エンジニア採用支援	170	2.9倍
7	hacomono	運動施設向け情報管理システム	149	3.2倍
8	クラスター	メタバース開発	137	3.0倍
9	キャディ	図面管理サービス	133	35%
10	SUPER STUDIO	EC事業者向け業務管理ソフト	124	63%
10	RevComm	電話商談の解析システム	124	99%

この2年間でスタートアップの中でも急激に人員が増加。6位にランクイン

ファインディが展開するエンジニアプラットフォーム

マッチングサービス

ToC / ToB



正社員エンジニアの採用

約13万人のエンジニアと1,000社以上のテック企業をマッチング。



フリーランスエンジニアの採用

7万人以上のフリーランスエンジニアの成功報酬型の人材紹介サービス。



組織分析SaaS

SaaS / ToB



エンジニア組織の見える化

GitHubやJiraを解析し、エンジニア組織の見える化と生産性向上をサポート。



開発ツールメディア

β版

ToC / ToB



開発ツールのレビューサイト

実際に利用している企業の声を元に、開発ツールの導入や検討に必要な情報を集約。企業の技術選定をサポート。



※ 各種数値は、2024年6月時点のFindy転職、Findy Freelance、Findy Team+、Findy Toolsの4サービスの累計での社数及び登録者数です。
なお、1社又は1名の方が複数のサービスに登録している場合は、そのサービスの数に応じて複数のカウントをしています。

導入企業

大手からスタートアップまで幅広い企業の開発DX支援を手がけている会社です。

大手関連会社



メガベンチャー・スタートアップ



その他



パーソル キャリア



YOU TRUST



※ 2024年2月現在

「エンジニア」と「開発組織」の価値を見える化し、 最適な出会いやエンジニア組織の改善を提供

エンジニアスキル

GitHubを解析し、年収を予測

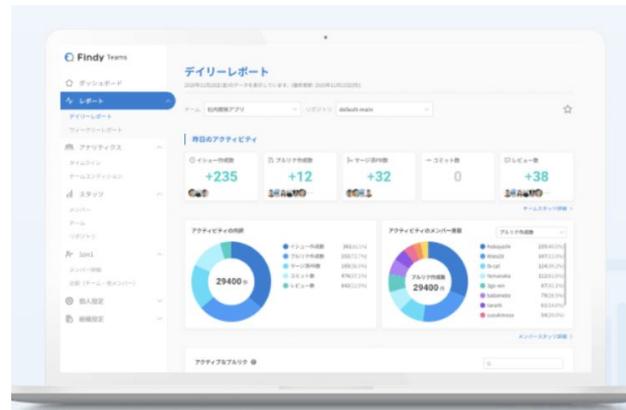


 Findy 転職

 Findy Freelance

エンジニア組織の可視化

開発生産性の向上



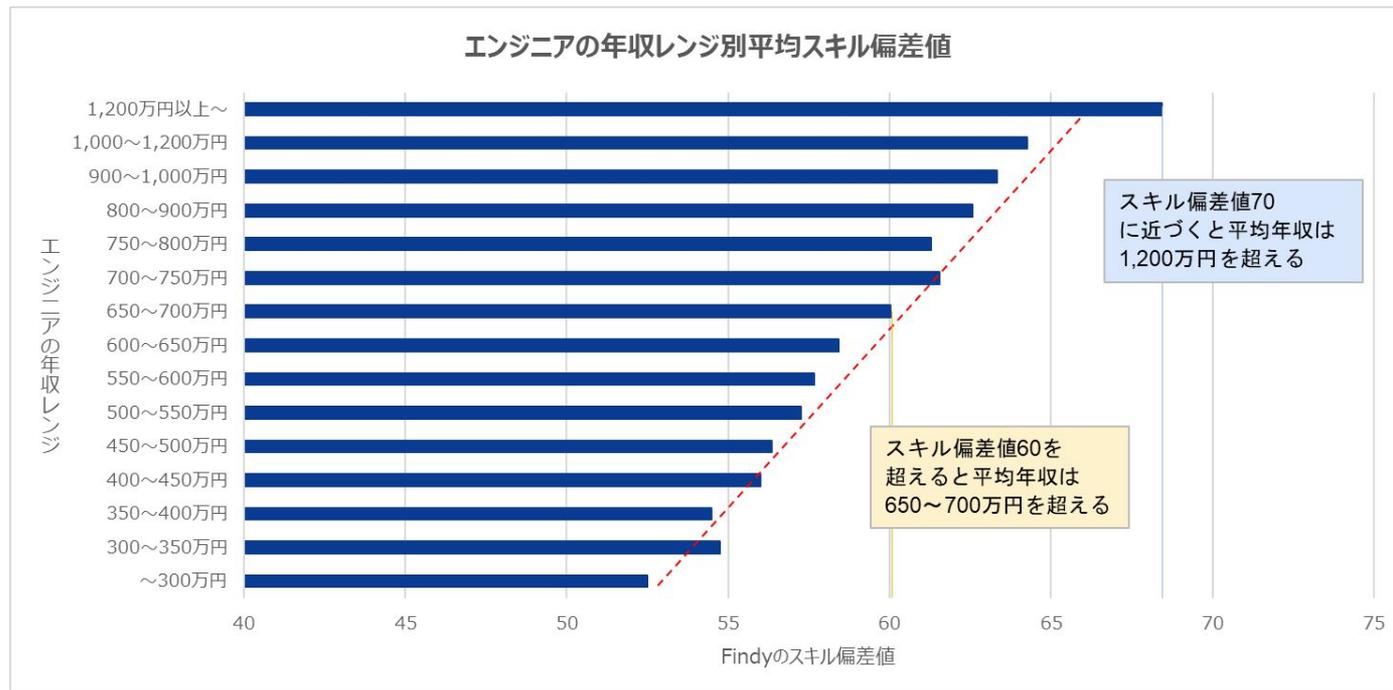
 Findy Team+



関連サービスのご紹介

Findy 転職のご紹介

スキル偏差値とエンジニアの年収レンジは相関傾向 初期数年はスキル偏差値による低CPAでユーザーが登録



Source: Findy転職の登録データをベースに作成

Note: スキル偏差値とは GitHub内の日本在住のユーザーの公開レポジトリを Findyが独自に解析してスコアリングしたもの。公開レポジトリのみ解析対象となっている。

最近はハイスキル層向けのイベントやエンジニア向けの企画を通じて、
新規のユーザー登録増を実現

エンジニア向けイベント

2,000名以上のエンジニアが参加
再放送も1000名以上が参加

主催：ファインディ株式会社

t-wadaさんが
後世に残したい
実録レガシーコード改善

Findy 2024.01.15 [月] 12:00-13:00

ハッシュタグ： #技術的負債_findy

募集内容

無料参加枠(オンライン)

無料

先着順

2018/1900人

エンジニア向け企画

エンジニアおみくじはX上で約1,000件の投稿

2024年のエンジニア運勢を占ってみませんか？

年始限定

キャンペーン期間
1/1月 - 1/14日

エンジニア
おみくじ
2024

Findy特製の
エンジニア御守り

登録エンジニアの属性

サービス登録者合計

約 **12万人以上**

フロントエンド：23,667人

JavaScript

9,137人

TypeScript

7,253人

モバイル：4,423人

Swift

1,300人

Kotlin

900人

Dart

662人

バックエンド：27,874人

Python

6,338人

Ruby

6,155人

TypeScript

7,155人

Go

4,642人

PHP

3,850人

Java

3,251人

C#

1,478人

Rust

1,941人

データ系職種

4,965人

データサイエンティスト/ 機械学習エンジニア/ データアナリスト/ データエンジニア

インフラ

10,837人

インフラエンジニア/ ネットワークエンジニア/ セキュリティ/ SRE / データベース

QA

966人

PdM / PM

9,412人

※ 各言語の内訳は2024年4月1日時点のGitHub連携済みユーザーのみの人数です。

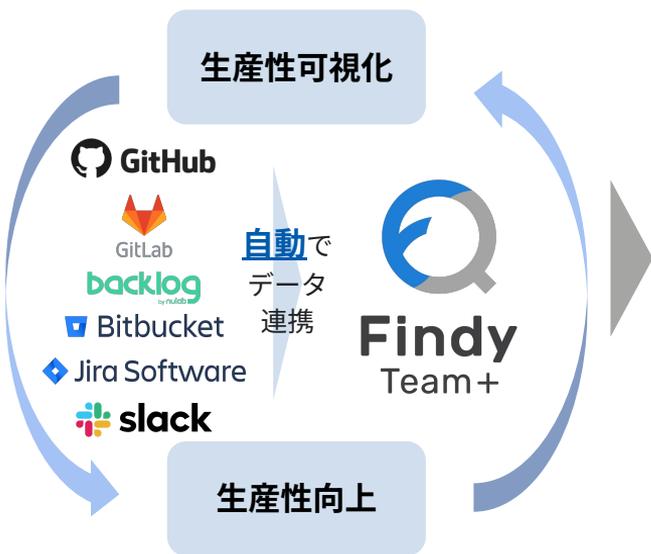
関連サービスのご紹介

Findy Team+ のご紹介

Findy Team+ : 導入の狙い・提供価値

Findy Team+をご導入いただくことで、継続的な生産性向上サイクルを通じた開発工数低減・ビジネススピード加速、開発プロセス改善・文化づくりをサポートします

継続的な生産性向上サイクル



開発工数低減

- 生産性向上により、人数あたりの開発アウトプットが増加

ビジネススピード加速

- 開発生産性の向上により、ビジネススピードも加速
- 定量的な改善結果や改善に向けた取り組みを採用広報に活用し、さらなるエンジニア組織拡大を目指す

開発プロセス改善

- ボトルネック可視化
- 開発フロー・組織体制・ツール等を最適化
- 開発者体験の向上

文化づくり・自己組織化

- チーム・メンバーが、定量データを活用し、自発的に改善に取り組み（自己組織化を促進）
- 改善効果をFindy Team+で確認し、称賛文化を形成

画面サンプル

機能リリース回数・時間や開発プロセスごとの深掘り分析が可能です



画面サンプル

機能リリース回数・時間や開発プロセスごとの深掘り分析が可能です



Findy Team+活用・提携事例：KDDIアジャイル開発センター様と提携

開発組織の内製化におけるパフォーマンス向上・開発生産性向上を目指して、KDDI様のクライアントをご支援する協業を開始

2024.07.10 ニュースリリース

開発組織の内製化におけるパフォーマンス可視化・開発生産性向上に向けて ファインディ株式会社との協業を開始します

～スクラムチームをトータルで可視化し、内製化推進へ～

KDDIアジャイル開発センター株式会社

2024年7月10日



KDDIアジャイル開発センター株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 / CEO：木暮 圭一、以下KAG）とファインディ株式会社（東京都品川区、代表取締役：山田 裕一朗、以下ファインディ）は、開発組織の内製化におけるパフォーマンス可視化・開発生産性向上に向けて2024年7月16日（火）より協業を開始することを発表します。

- 参考URL <https://kddi-agile.com/news/20240710-01>

アジャイル開発×内製化に取り組む中で、定量的な可視化→ボトルネック発見→改善に チームプラスを活用して、アジャイル×内製化を推進



課題

- アジャイル開発を掲げていたが、アジャイルに移行しきれておらず、無駄が多い形に
- 内製化を目指していたが、モバイルアプリの知見が社内にはない&エンジニアが不在で、パートナーへの指示方法もよく分からない状況

取り組み方針

- コーディングプロセス・プルリク生成ルールの策定と実行、定量的な可視化に
取り組み

具体的な取り組み (一部)

- Findy Team+を活用してボトルネックを
定量分析
 - パートナーにお願いしているプルリクが膨大になっており、常態化していたため、1週間で対応可能な量にプルリクを分割して、均一化

効果

- 伸びしろの定量把握により、メンバーの早期戦力化が実現し、パートナーへの依頼比率が100%→20%に減少

Findy Team+活用・提携事例：BuySell Technologies

IR資料にFindy Team+を掲載し、技術投資による開発組織強化の取り組みを発信

Tech投資進捗_テクノロジー組織の拡大と成長



- エンジニア採用体制の構築・運用が進み、テクノロジー組織拡大へ向け順調に進捗中
- “エンジニア組織の生産性指標が高い企業”として「Findy Team+ Award 2022」を受賞



取締役CTO 今村 雅幸

2006年ヤフー入社後、様々な新規事業開発に従事
その後VASILYを創業、取締役CTO就任
ZOZOにVASILYを売却後、ZOZOテクノロジーズCTO就任
プロダクト開発や組織マネジメント等において幅広く活躍
2021年4月BuySell Technologies取締役CTO就任
日本CTO協会理事

テクノロジー戦略本部長 松榮 健至

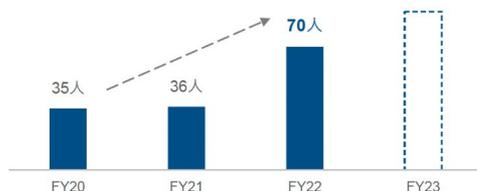
2012年 グリーへ入社。高トラフィックなゲーム開発エンジニアとして従事
その後複数タイトルをプロデューサーとして歴任。子会社funplexのゲーム
プロダクション部 部長として事業を推進
2019年 BuySell Technologiesへ入社
プロダクト開発・開発組織のマネジメントを担当

テクノロジー組織の拡大



大手IT企業からエンジニアリングマネージャーや
テックリード級の人材採用を強化

テクノロジー戦略本部社員数



- 参考URL <https://ssl4.eir-parts.net/doc/7685/tdnet/2240978/00.pdf>

「Quantity × Quality」の両輪でテクノロジー組織の成長を実現

生産性向上



“エンジニア組織の生産性指標が高い企業”として
「Findy Team+ Award 2022」を受賞



関連サービスのご紹介

Findy Tools のご紹介

国内初の”**開発ツールに特化**”したメディア。**利用者の6割が意思決定者層**であり、各社のレビューやアーキテクチャからDevOpsツールの稟議・導入・活用を加速します。

掲載ツール数
約100件

レビュー件数
300件

公開アーキテクチャ
200件





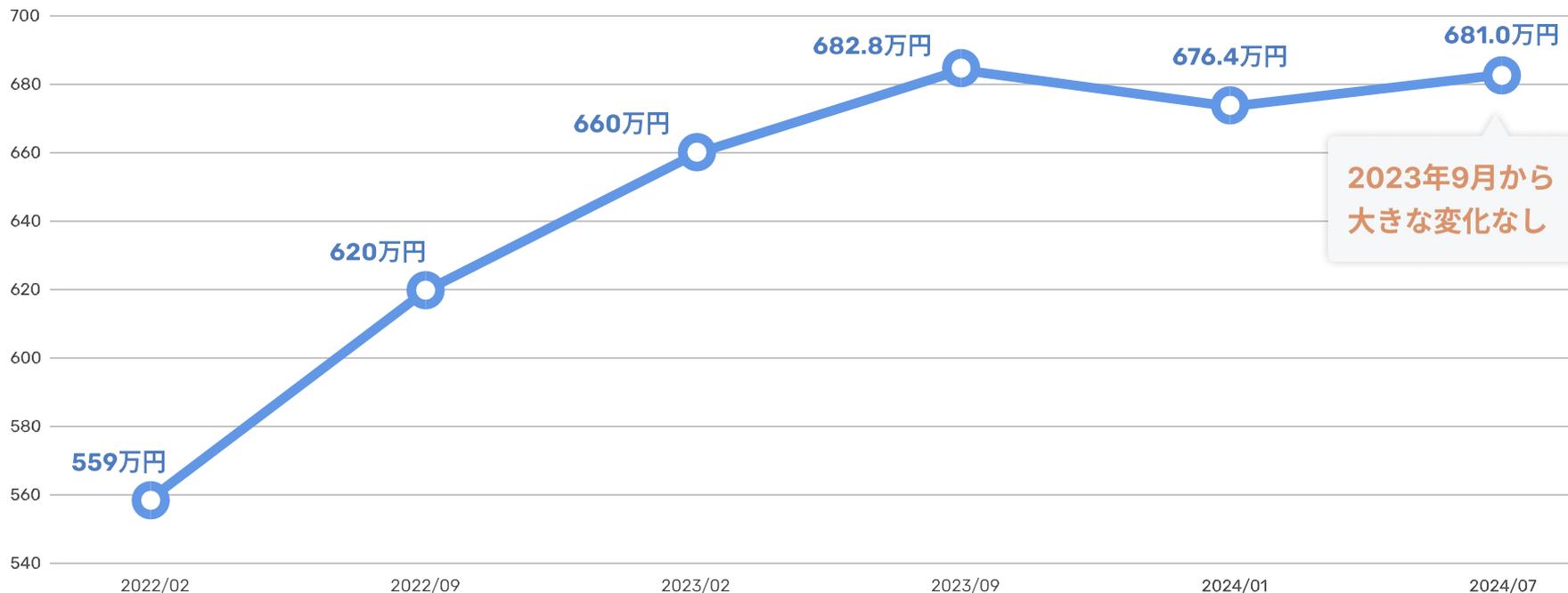
IT/Webエンジニアの調査レポート

ITエンジニアの現在地

エンジニアの年収はコロナ渦中で急速に上昇したが、2024年以降は大きな変化がない状況

設問

現在の年収（本業のみの収入）について当てはまるものをお答えください
※手取り金額ではなく、額面上の金額をお答えください



大規模調達ができるスタートアップは増えており、スタートアップ内での年収は増加結果的には大手とスタートアップの年収差がほぼなくなってきている

設問

現在の年収（本業のみの収入）について当てはまるものをお答えください
※手取り金額ではなく、額面上の金額をお答えください

企業規模別

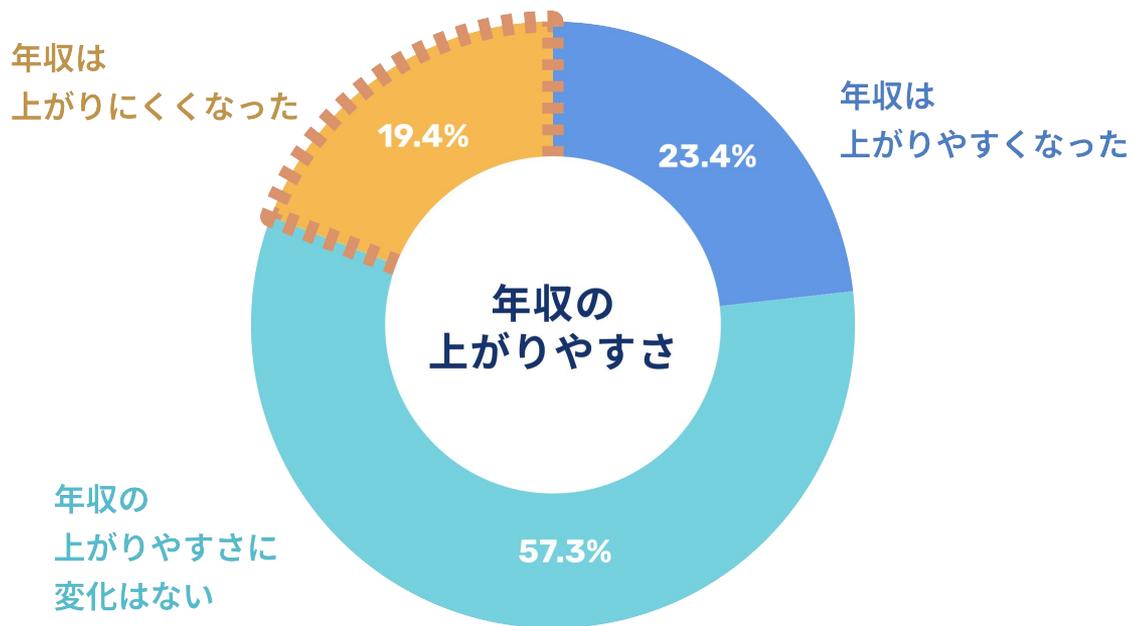
- ・ シード・アーリー期スタートアップ(調達額1億円以下)：657.1万円(N=28) | 前回657.5万
- ・ 未上場スタートアップ(シリーズA)：701.5万円(N=49) | 前回622.2万円
- ・ 未上場スタートアップ(シリーズB)：704.1万円(N=49) | 前回642.3万円
- ・ 未上場スタートアップ(シリーズC以降)：712.7万円(N=71) | 前回672.3万円
- ・ 上場ベンチャー：753.8万円(N=120) | 前回722.4万円
- ・ 大企業（従業員数1万人以上）：766.0万円(N=67) | 前回788.8万円
- ・ SI/SES：540万円(N=98) | 前回576.7万円

※N=20以上の項目に絞って表示 ※前回は2024年1月調査

実際に転職時にも年収の上がりやすさ / 上がりにくさは拮抗する状態になっている

設問

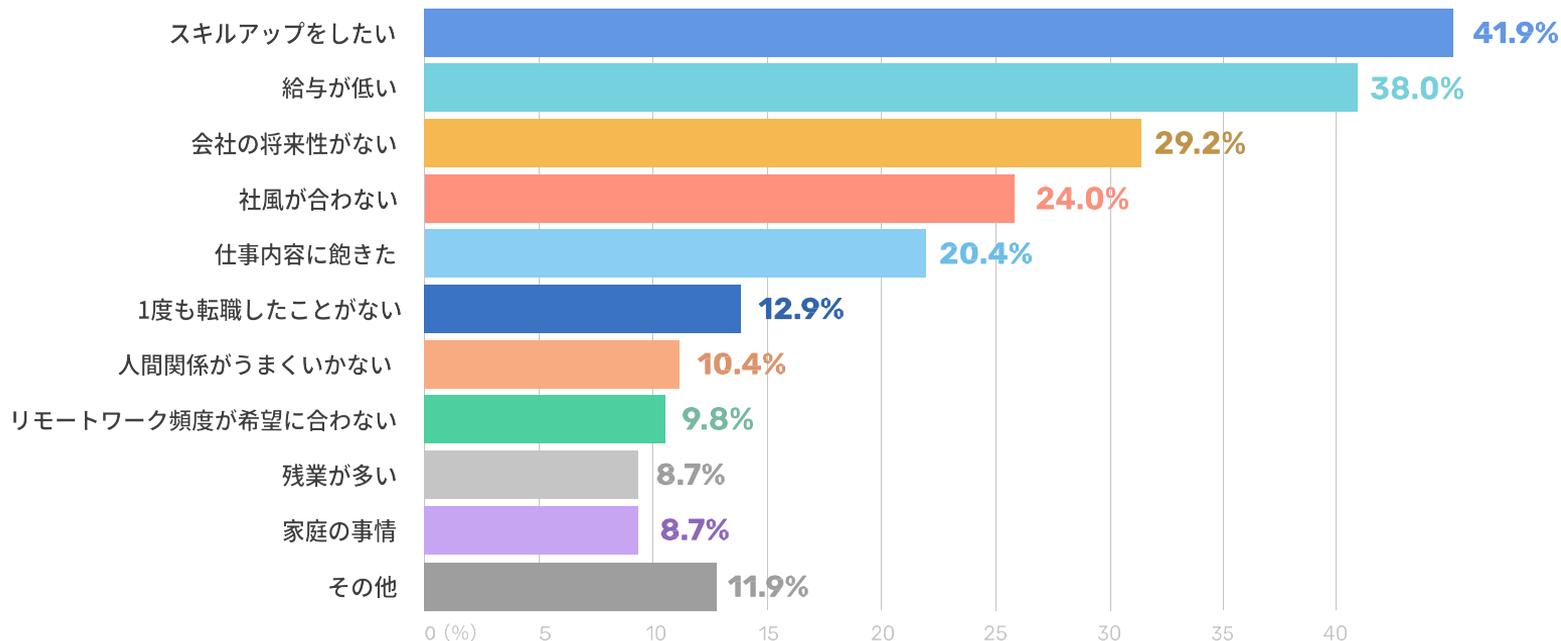
半年～1年以上前と比べて、年収の上がりやすさの変化について教えてください



転職を考えるきっかけは「スキルアップしたい」「給与が低い」「会社の将来性がない」が多い

設問

一番直近の転職を考えたいきっかけとして、当てはまるもの全て教えてください

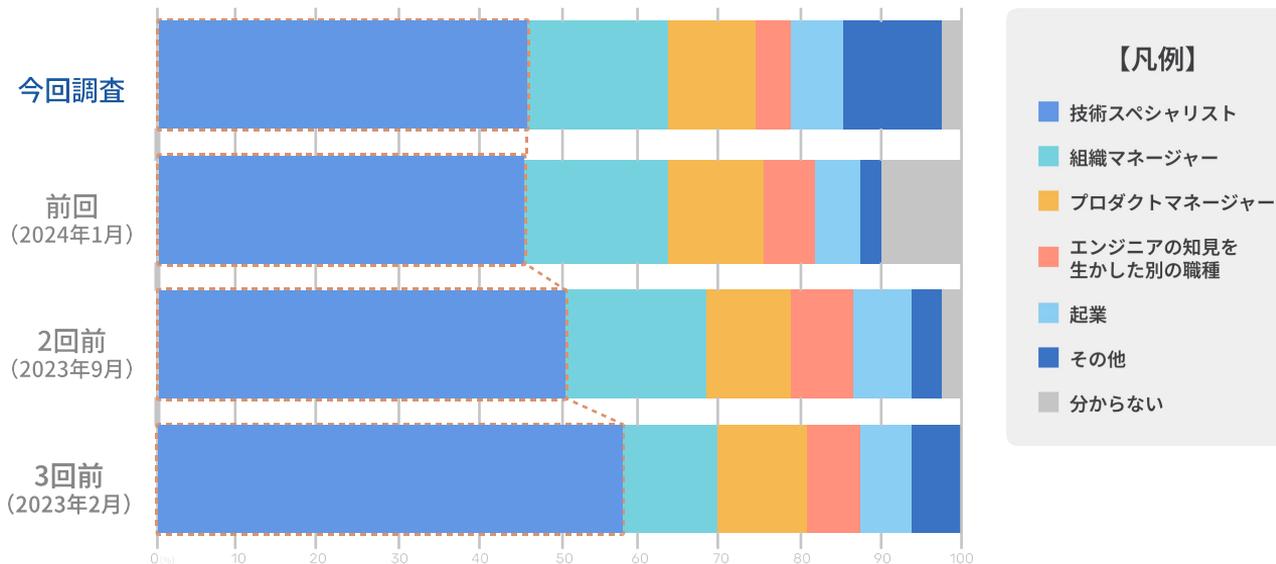


興味があるキャリアパスについては、テックリードから、組織やプロダクトを担当できるマネージャーに移行してきている

設問

どのようなキャリアパスに興味がありますか？最もあてはまるものを選んでください

興味のあるキャリアパス



【凡例】

- 技術スペシャリスト
- 組織マネージャー
- プロダクトマネージャー
- エンジニアの知見を生かした別の職種
- 起業
- その他
- 分からない

働いてみたい会社ではGAFAMなどの外資系やメガベンチャーが上位にランクイン

設問 働いてみたいと思う会社を最大3つまで教えてください

Amazon Web Services, Inc.

連続選出 Amazon.com, Inc.

連続選出 Google LLC

連続選出 サイボウズ株式会社

連続選出 株式会社SmartHR

連続選出 フリー株式会社

連続選出 Microsoft Corporation

連続選出 株式会社メルカリ

連続選出 株式会社ゆめみ

連続選出 LINEヤフー株式会社

連続選出 株式会社LayerX

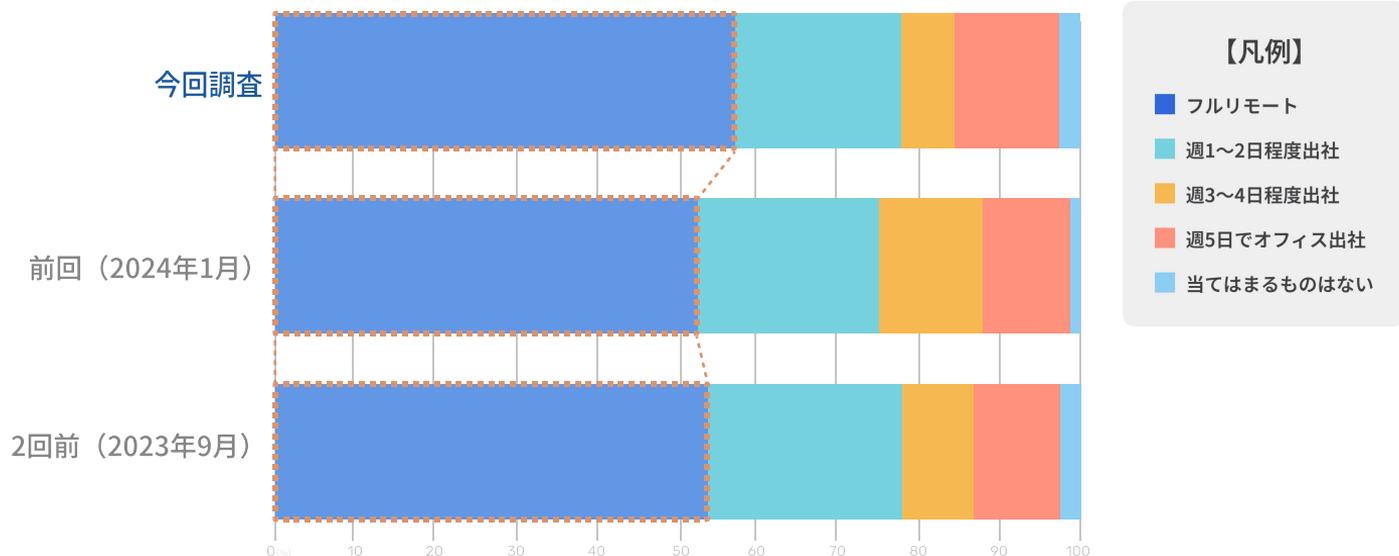
※回答が多かった上位10社を選出（10位が同率の場合はすべて選出）

依然としてリモートワークもしくは最大でも週1~2回程度の出社を希望するエンジニアが多い

設問

現在のご自身の勤務状況について、当てはまるものを選んでください

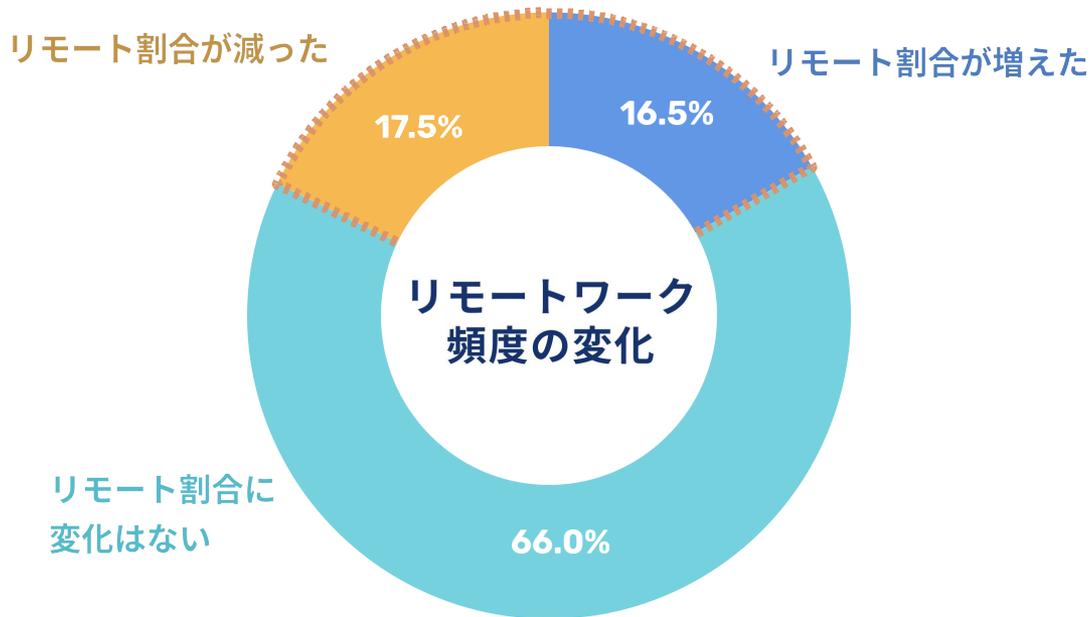
リモート頻度



一方でエンジニアにもオフィス回帰の流れはきており、リモートワークの割合が減ったケースが増えている

設問

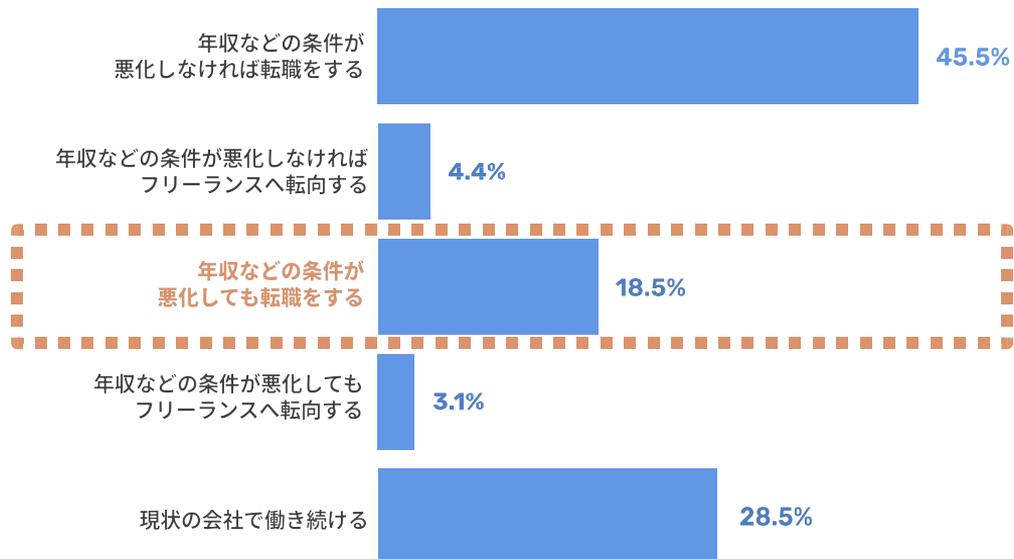
直近半年～1年でリモートワーク頻度に変化はありましたか？



リモートワークの頻度が減った場合は年収などの条件が悪化しても転職を希望する方も18%以上おり、リモートワークのニーズは根強い

設問

現在のリモートワーク頻度から出社割合が増えた場合、検討する対応方針として最も当てはまるものを選んでください



前回同様、JavaScriptやTypeScriptの利用が多い傾向

設問

現在主に業務で使用している言語・技術を最大3つまでご選択ください

1  TypeScript 40.4%

2  JavaScript 35.8%

3  SQL 24.5%

4  Python (Webサービス開発系) 18.4%

5  Ruby 16.2%

5  PHP 16.2%

7  Go 15.0%

8  Java 13.7%

9  Python (データ分析・機械学習系) 13.1%

10  C# 6.8%

11 Kotlin 6.5%

12 Swift 5.0%

13 C++ 4.9%

14 Dart (Flutter) 3.7%

15 Rust 2.4%

16 C 1.8%

17 Scala 0.9%

18 Objective-C 0.7%

19 Perl 0.4%

19 COBOL 0.4%

21 Python (ブロックチェーン系) 0.3%

21 Solidity 0.3%

21 MATLAB 0.3%

24 Assembly 0.2%

-- その他 8.7%



前回同様、TypeScriptやGo、Rustを習得したい人が多い

設問 今後習得または強化したい言語・技術を最大3つまでお答えください

1  TypeScript 40.4%

2  Go 36.1%

3  Rust 31.1%

4  Python (データ分析・機械学習系) 25.6%

5  Python (Webサービス開発系) 15.3%

6  JavaScript 15.0%

7  Dart (Flutter) 11.0%

8  Ruby 10.0%

9  Kotlin 9.5%

10 SQL 9.4%

11  PHP 6.6%

12  Swift 6.0%

13  Java 5.9%

14  C++ 3.8%

15  C# 3.1%

16  Python (ブロックチェーン系) 2.6%

17  Scala 2.5%

18  Elixir 1.5%

18  R 1.5%

20 Assembly 1.2%

21  C 0.7%

21  Solidity 0.7%

23  MATLAB 0.4%

24  COBOL 0.3%

24  Lua 0.3%

-- その他 3.8%

GoやDartの平均年収が引き続き高く、前回調査（=2024年1月）から大きな変動はなし

設問

現在主に業務で使用している言語・技術を最大3つまでご選択ください

1	Go	804.9万円	前回814.8万円
2	Dart	754.0万円	前回735.3万円
3	Python (Web)	727.8万円	前回692.0万円
4	Ruby	721.1万円	前回670.8万円
5	Kotlin	710.2万円	前回691.4万円
6	C++	706.1万円	前回677.0万円
7	Python (機械学習)	707.0万円	前回744.1万円

8	TypeScript	709.7万円	前回689.4万円
9	Swift	700.7万円	前回663.1万円
10	Java	700.5万円	前回705.9万円
11	C#	653.8万円	前回627.0万円
12	SQL	642.5万円	前回660.3万円
13	JavaScript	626.7万円	前回636.2万円
14	PHP	608.2万円	前回588.3万円

※回答20名以上のみ算出

※Rubyは2,000万以上の回答が1件あったため平均年収が前回比で大きく上がっている

内製開発Summitより

大企業による内製開発の推進

今月2月27日にFindy主催で内製開発Summit

リアルで500名以上の参加を目指す

内製開発 Summit 2025

[スピーカー](#)

[タイムテーブル](#)

[スポンサー](#)

[ツール](#)

[求人](#)

[お申し込み](#)

内製開発 Summit 2025

2025年2月27日(木) 9:30 ~ 19:00

野村コンファレンスプラザ日本橋

[お申し込みはこちら](#)

大手企業出身者が登壇

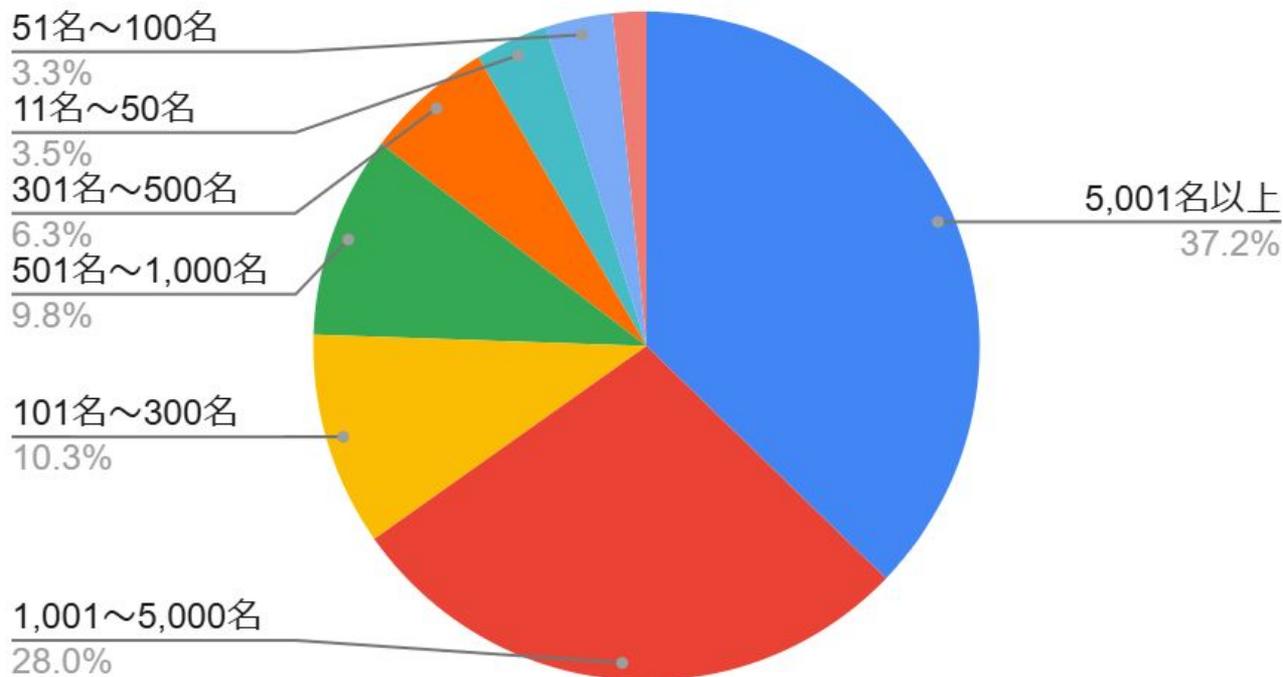
トヨタ・ソニー・パナソニックなどの企業のCTO・開発部長が内製開発をテーマに登壇

 <p>石川 隼輔 DX推進部 開発推進グループリーダー</p> <p>+</p>	 <p>登 正博 品質CSセンターソフトウェア品質戦略担当部長</p> <p>+</p>	 <p>紙中 加代子 金融ソリューション部 部長</p> <p>+</p>
 <p>柴田 彰則 取締役 CIO / CISO</p>	 <p>松藤 伸行</p>	 <p>翁長 聡史 フロントエンド開発チーム スクラムマスター</p> <hr/> <p>堀内 亮佐 フロントエンド開発チーム エンジニア</p>

参加者のうち65%以上が従業員1000名以上の会社

内製開発Summit参加者の従業員規模

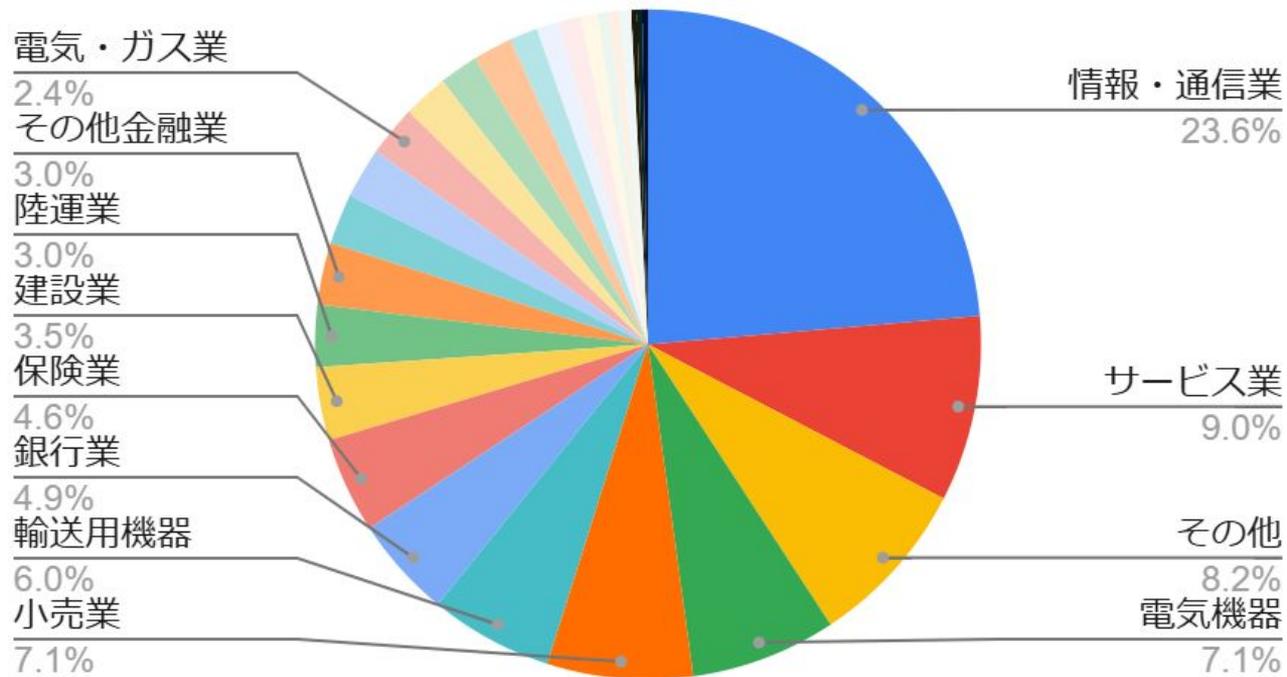
【内製開発Summit】従業員規模



参加業態は情報通信に続いてサービスや小売、電気機器などが続く

内製開発Summit参加者の従業員規模

【内製開発Summit】 業界/業種

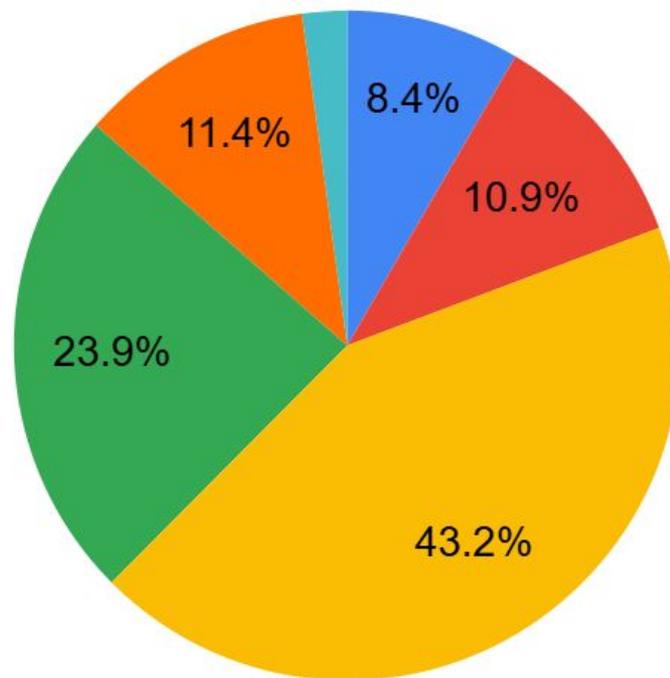


内製開発が根付いてきているのはわずか20%程度の企業のみ

内製開発Summit参加者の従業員規模

【内製開発Summit】内製開発体制

- 内製開発が社内文化として根付き、継続的な改善や新しい技術導入が日常的に行われる段階
- 標準的な開発手法やツールが社内に浸透し、ほとんどの開発案件で内製化が当たり前となっている段階
- 複数の開発案件で内製化を進めているものの、統一されたルールや手法がまだ整っていない段階
- 一部領域で試験的に内製化を進めている段階
- まだ内製化に着手していない段階
- 外部支援が中心のため、選択肢がない

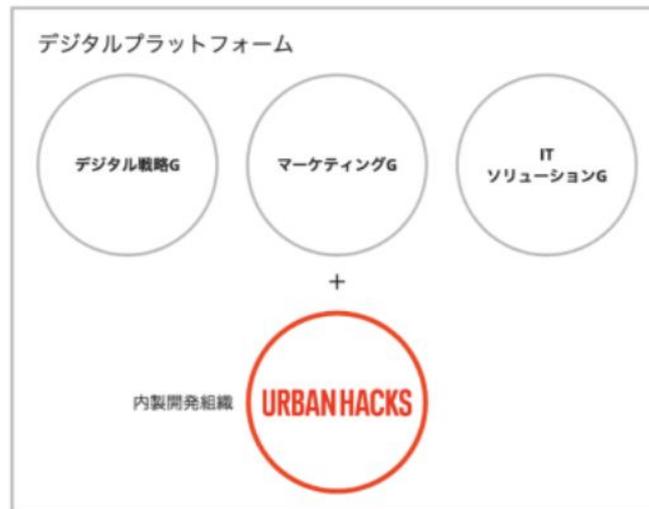
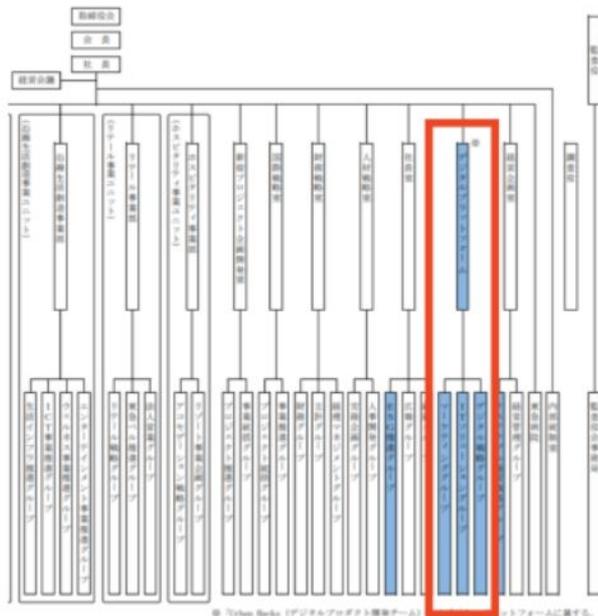


【先進事例】

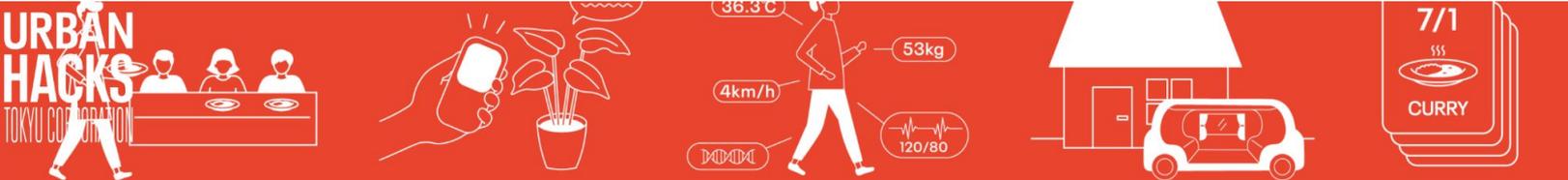
東急さんではアーバンハックスを他部門と並列で立ち上げて内製化を推進

東急株式会社 業務組織図 (2022年10月～)

デジタルプラットフォーム(部門)の各Gと、内製開発組織であるUHとが連携してDXを推進。



【先進事例】アーバンハックス（東急）の特設サイトを開設し、エンジニア採用にも魅力的な打ち出しを実施



URBAN HACKS
TOKYU CORPORATION

36.3°C
4km/h
53kg
120/80

7/1
CURRY

URBAN HACKSの、夢見る世界。

FUTURE URBAN

これは、あくまでも空想段階の未来都市。
でも、「あったらいいな」が溢れている。
食に、仕事に、遊びに、移動や教育、防災から決済まで。
想像することから動き出す「いい未来」を、
URBAN HACKSが先導していきます。



WHAT
FUTURE
ABOUT
OWNER
JOB
BENEFIT
LINKS



23°C
1m/h
4m/h
90%

Copyright © 2024 TOKYU CORPORATION.

募集要項

【先進事例】KINTOテクノロジーズ（トヨタフィナンシャルグループ）さんでは テックブログを開設し、エンジニア採用に向けて情報の発信を積極化



December 25, 2024

2024年の振り返りと2025年の展望



miyashita

SpringBatch5



December 25, 2024

GitHub Copilotとプログラミングして分かった
AIとの付き合い方（モバイルエンジニア編）



somawada

General

だれもが当たり前で生成AIを活用している企業を目指して
文化醸成と内製研修の取り組み紹介

すべての記事

329 件の記事

AWS

生成AI

Event

General

Development

SpringBatch5

TechPR

Flutter

Android

ISUCON

MapKit

NFT

Podcast

Jetpack Compose

AutomationTesting

Agile

Organization

Security

DBRE

SwiftUI

Slack

iOS

OsakaTechLab

Android Automotive OS

PlatformEngineering

Frontend

Cloud

SRE

CI/CD

HR

Design

UI/UX

Cloud Security

Salesforce

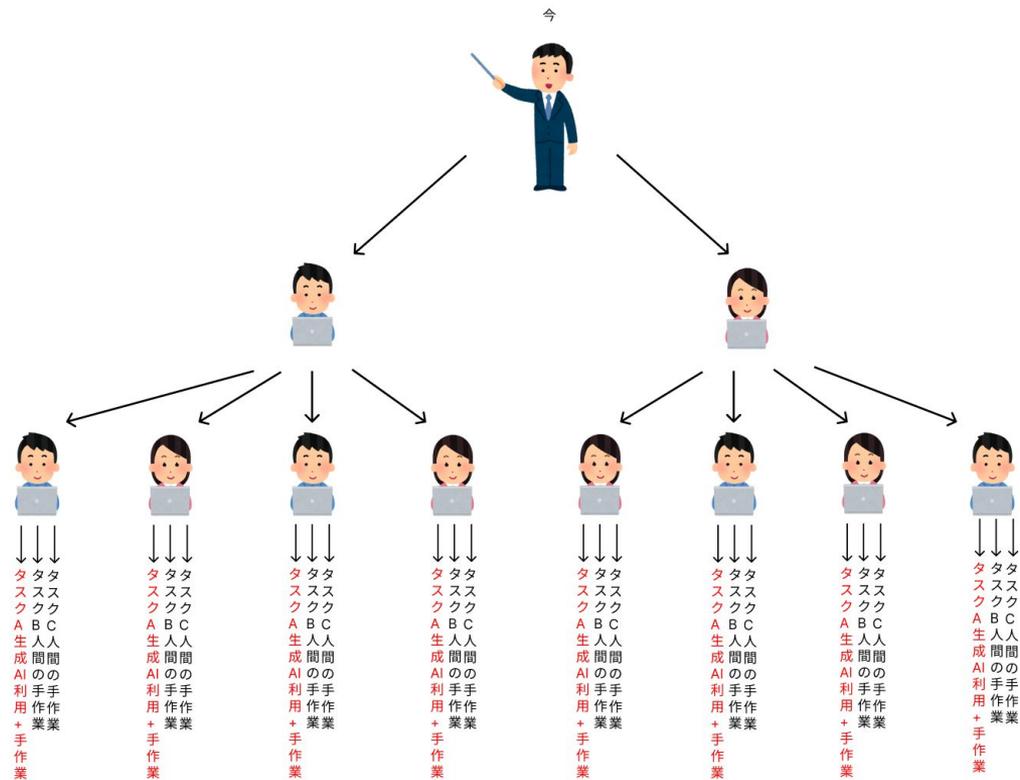
Operation

Diversity

今後のエンジニア人材育成

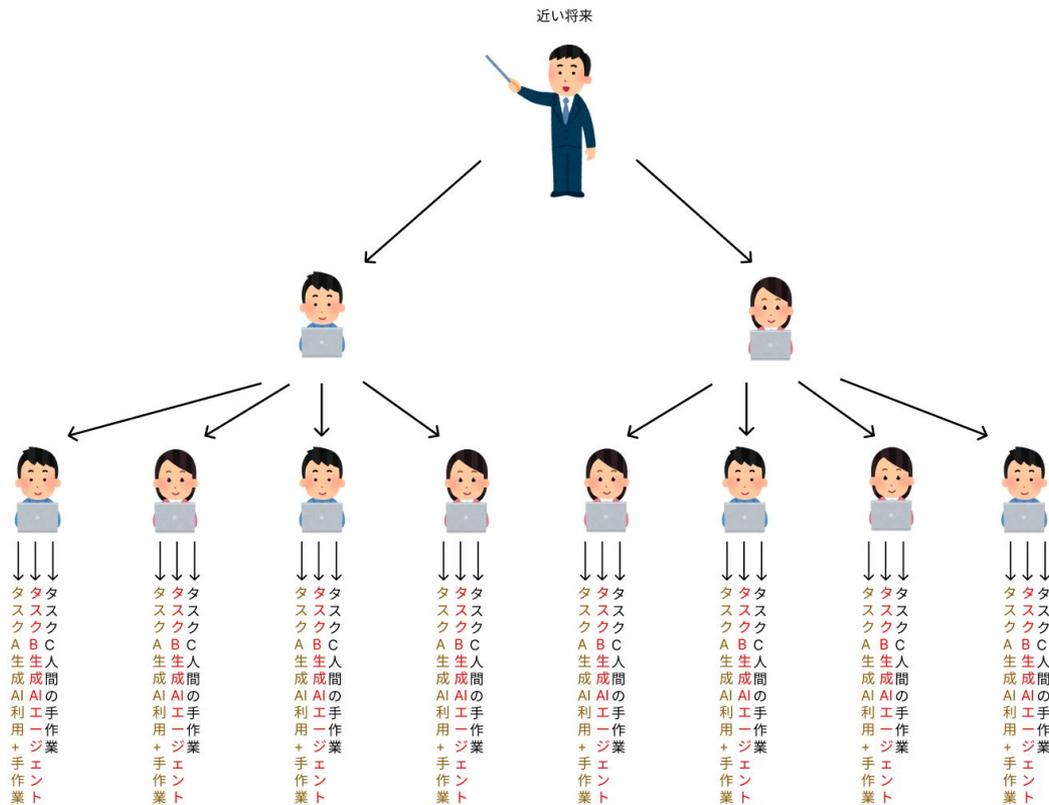
今：生成AIを活用しながら、手作業を人間が行う

結局人間が手を動かしている今



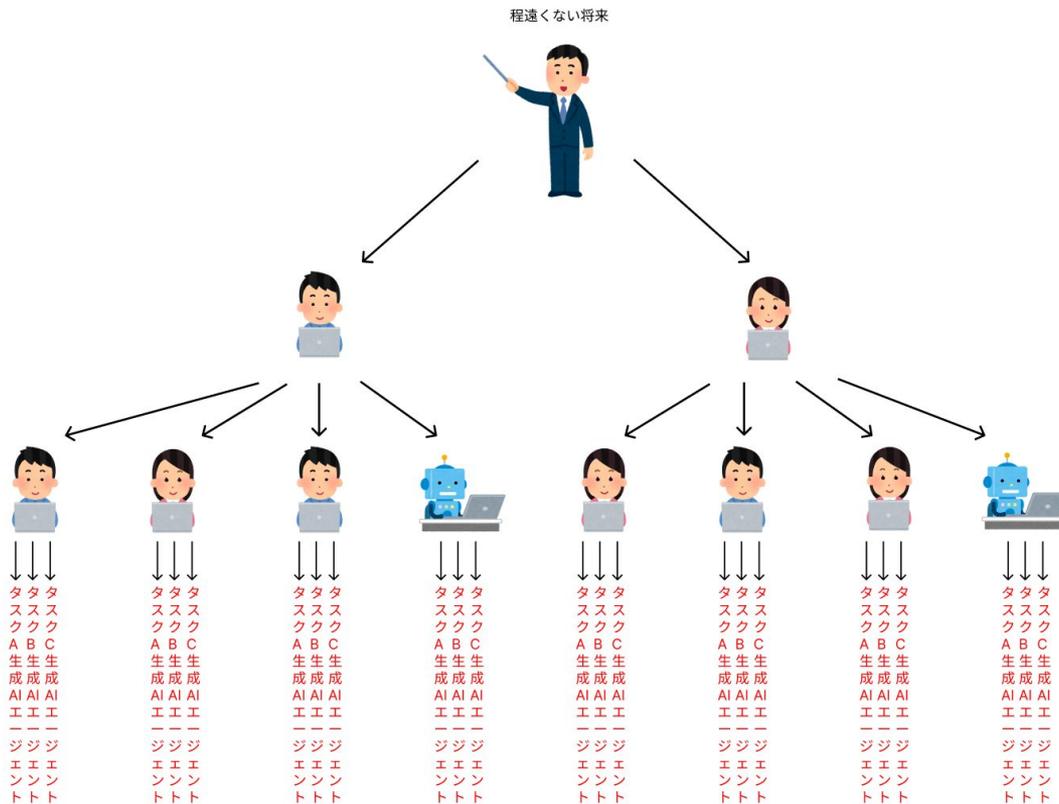
近い未来：AIのエージェントが代替し、指示を出すくらいになる

指示の出し方が大事になる



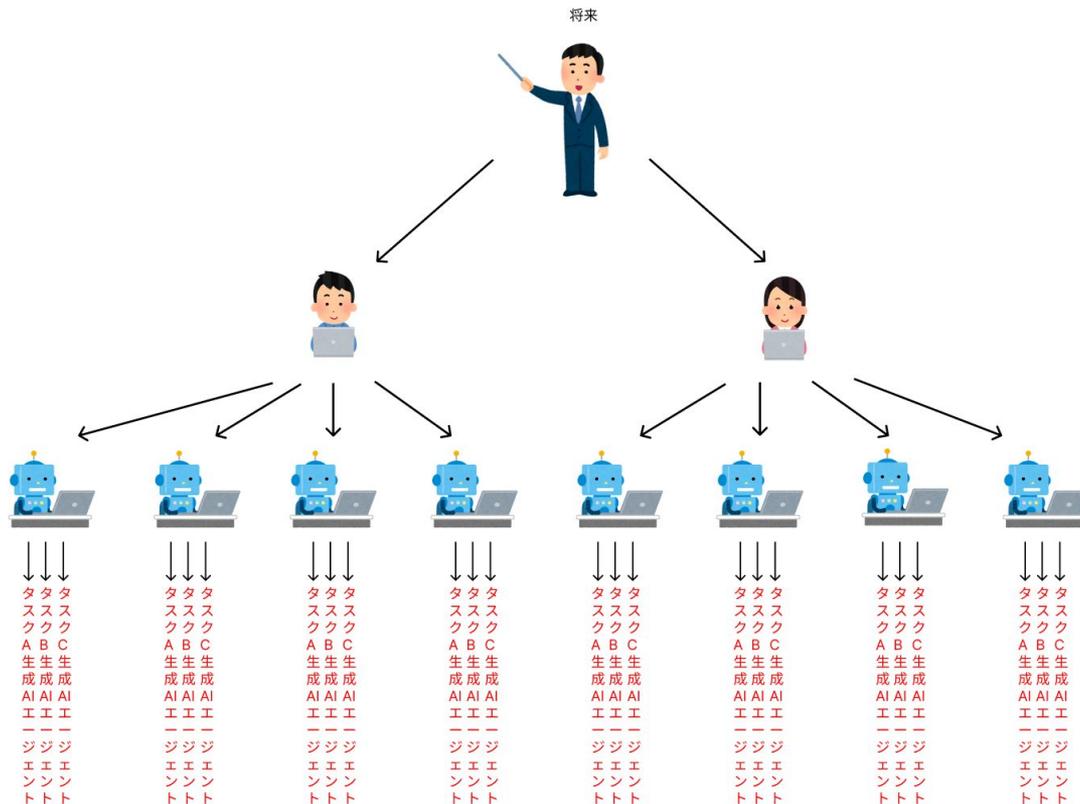
程遠くない未来：AIのエージェントがエンジニアになる

生成AIエージェントの統合を一部は人間が、一部はAIエージェントがやるようになる



未来：エンジニアは生成AIをマネジメントするAIマネジメントが仕事になる

マネージャーは人かAIのマネジメントがメインになる



AIコーディングの活用を通じた能力向上は、エンジニアにとって必須になる見込み

• Home Enterprise Pricing Customers About us ↗ Careers ↗ Blog ↗ Contact ↗ Docs ↗ Login ↗ [Get started](#)

Devin is now generally available | [Get started ↗](#)

Build more with Devin

 **Devin**

Hey there! 🙌 I have created a pull request for the changes requested.

Please let me know if there's anything else you need!

Give Devin a task to work on... →

Devin

is a collaborative
AI teammate

Built to help ambitious engineering teams achieve more.

海外では自社データセットを活用した上で、GPUを触ってAIを学ぶリスキリングサービスなども進化（韓国の事例）

elice/

Products ▾

Resources ▾

Elice AI ▾

Log In

Contact

Try Free Trial

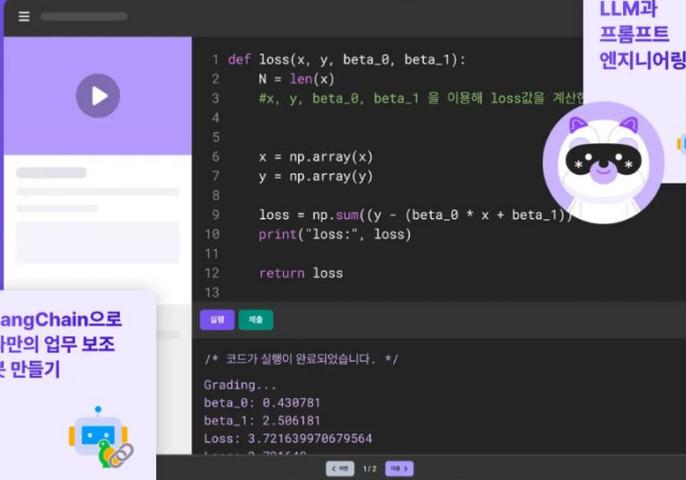
🏠 Elice LXP

Complete AI practice education system with Elice LXP

Maximize learner capabilities with AI-based personalized education to nurture talent optimized for the DX and AX era.

Try Free Trial

Contact



LLM과 프롬프트 엔지니어링

```
1 def loss(x, y, beta_0, beta_1):
2     N = len(x)
3     #x, y, beta_0, beta_1 을 이용해 loss값을 계산함
4
5
6     x = np.array(x)
7     y = np.array(y)
8
9     loss = np.sum((y - (beta_0 * x + beta_1))**2)
10    print("loss:", loss)
11
12    return loss
13
```

LangChain으로
나만의 업무 보조
봇 만들기

/* 코드가 실행이 완료되었습니다. */
Grading...
beta_0: 0.430781
beta_1: 2.506181
Loss: 3.721639970679564